

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

28号

- ◆地域、市、県、国の動きを見据えて
- ◆無料法律・年金・市民生活相談案内
- ◆坂戸市の教育をめぐる課題と展望
- ◆坂戸市議会3月定例会にむけて
- ◆あなたの平和・私の人権

地域、市、県、国の動きを見据えて



上田清埼玉県知事に
県政要望を提出
左から順に、
根岸富士見市議、
岡野毛呂山町議、
川辺久喜市議、
武井代表(坂戸市議)
上田知事、
中野鴻巣市議、
高橋川越市議、
佐藤前代表(顧問)

新しい1年がスタートしました。坂戸市民みなさまにはいかがお過ごしですか。

武井誠は、昨年4月に社民党埼玉県連合の代表となり、地域・市の要望を、県や国につなぐ役割も担わせていただいています。

昨年11月には、県内地方議員の仲間と共に、上田埼玉県知事に要望書を提出しました。平和や脱原発、全県的な福祉、教育、環境問題などに関する要望のほか、地域要望にも重点を置き、例えば坂戸市内の浸水、冠水対策などについても、要望に盛り込みました。

県からは「善能寺地区及び玉林寺地区の県道(当時)付近の冠水対策」については「第1期工事の総括を踏まえ、坂戸市、毛呂山町と再度協議し、早急に改善する。内水がたまるので周辺の住民の反対もあり、内水排除・スムーズに流すのは市と町の仕事なので、連携を取りながら整備を進めていきたい」といった一次回答が届きました。

**みなさまと共に、
今年も頑張ります!**

ホームページを毎日更新しています。「武井誠」と入力し検索をクリック。ツイッター、フェイスブックからも発信しています。無料メルマガも通算108号になりました。毎月1日、15日に配信しています。ホームページから、お申し込みください。

無料市民生活相談会継続中

日常生活での悩みごとに、弁護士、社労士、税理士、心理カウンセラーが無料で相談に応じる会を実施し、大変好評をいただいています。13時～武井誠との市民生活相談、14時～年金相談、15時～法律相談、相談時間は30分です。税務、家庭相談は随時となります(要予約)。

次回は、北坂戸の文化施設オルモで2月10日(土)。

次々回は、坂戸駅前集会施設で3月24日(土)になります。

緊急の場合には、有料となりますが信頼できる弁護士事務所、社労士、税理士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。(ケイタイ 090-9854-5175)

3月議会にむけて 市政への要望をお聴かせください

2018年度予算案概要説明が2月初旬、坂戸市議会3月定例会は2月20日ごろ開会予定です。みなさまの声をもとに質疑・一般質問を行います。現時点で、お寄せいただいた声を順不同で紹介させていただきます。さらなるご意見・ご質問をお待ちしています。

「城山の森」と太陽光発電設備

1月12日の朝日新聞と埼玉新聞に、太陽光発電設備設置に伴う城山地区の山林伐採が、希少植物「コ克蘭」「サワギキョウ」にあたる影響についての記事が掲載されました。

環境政策課に確認したところ、掲載内容のとおりであり、県の調査とも連携して対応を考えていきたいとのことでした。

自然エネルギーへの転換自体は推進すべきものと考えますが、その際に配慮すべきことは何か、動向を注視していきます。

保険税等、今後の負担動向を注視

来年度から、埼玉県が財政運営の責任主体となる国保制度の広域化が実施されます。周知期間が確保できないため来年度の国保税変更は見送られる見通しですが「激変緩和」等の意味するところは、やがて大きな負担増がありうるという予告とも取れます。

また、現在第7期介護保険事業計画への市民コメントが求められていますが、そこには財政的に厳しい将来推計が示されています。

少子高齢化の中、年々増加する給付額。「地域包括支援システム」も、その考え方は重要ですが、同時に国政における大企業優先の税制の歪み是正や、突出する防衛費の削減などによる福祉重視の政策への転換、予算増額が求められていると考えます。

葬儀場・墓地・納骨堂について

昨年も無料法律相談などで、たくさんの方が、いわゆる「終活」について、いろいろな悩みをお持ちであることがわかりました。私の選挙マニフェストの中でも、公営の樹木葬・樹林墓地設置について「この約束があるのであなたに投票する」という声をいただいています。

一昨年の武井一般質問には「ゼロ回答」でしたが、昨年11月この問題についての研修会に参加しました。そこで学んだことを基に近々市の姿勢を、改めて問いたいと思っています。

重要課題が、たくさんあります

他にも多くの課題・要望を頂いています。

- ・家庭ごみの資源化・減量化を図る「落ち葉銀行」を(深谷市、志木市等で実施)。
- ・地方公務員法改正に伴う市職員の雇用・勤務条件条例変更について(会計年度職員)。
- ・「公契約条例」の制定。
- ・部落解放基本法の具現化。
- ・原発事故避難者の実態把握と支援。

また、水道企業団議会では、いわゆる「民営化」の動きについて、新企業長(斎藤鶴ヶ島市長)の見解を問いたいと考えています。

緊急性などを勘案しながら、順次取り上げていきます。

反核・平和 坂戸市の英断と埼玉県議会の愚挙

私たちは「核と人類は共存できない」を合言葉に、核兵器廃絶や脱原発の運動を進めてきました。年末から年始にかけて、県と市において対照的な二つの大きな動きがありました。

昨年12月22日、埼玉県議会は「原子力発電所の再稼働を求める意見書」を可決しました。都道府県議会としては全国初です。原発立地県、原発事故被害者の心を踏みにじるものであるという県内外の市民から大きな非難が寄せられ、抗議への賛同署名は短期間で3000筆を上回りました。私たち社民党埼玉県連合も1月10日抗議文を提出しました。

一方、平和首長会議に加盟している坂戸市は、年明けから市のホームページ上で「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動に取り組んでいます。武井誠の9月議会における一般質問への答弁等を、実現してくれたことを高く評価するものです。

私たちは、広島、長崎、福島、そして沖縄県民の苦しみを、けっして忘れません。

学校教育について考える

教育の問題は、武井誠のライフワークです。議会でも様々な側面から市と教育委員会の姿勢を問うてきました。12月議会の一般質問を含め、まとめさせていただきます。

玉石混交の教育改革 アクティブラーニング 道徳 外国語

学校教育の姿が大きく変わりそうです。子どもたちがお互いに教えあい、学びあう学習方法（アクティブラーニング）の拡大やパソコン、インターネットの活用などは、いいこと、あるいは時代の流れといえるかもしれません。

一方、小学校では来年度から「外国語」「道徳」が評価の必要な「教科」になります。私は、これは、やってはいけない「改悪」だと考えます。



どんな教育改革も教職員が疲れていては無理

いずれにしても、学校現場の混乱と教職員の多忙化に拍車のかかることは必至です。

12月議会で、教職員の勤務時間について質問しました。市内3校（全体の約6分の1）を抽出した10月の速報値では、83人中、実質的な超勤80時間以上が13人、100時間以上が2人とのことです。

管理職（校長、教頭）や行政の責任について追及しました。負担軽減や、産業医の配置、教職員のストレスチェック導入を検討するなどの前向きな答弁を得ましたが、根本的な解決には、ほど遠い状態です。お金と人と時間をかけなければ、どんな改革も絶対に失敗します。



教育を歪めるテストと受験産業

そして入試が教育改革の大きなネックになっています。受験の時期を迎え、生徒、保護者、教職員みなさんから入試制度の問題点について多くの声が届いています。

私立高校の事前相談では、校外での北辰テスト3回の平均偏差値の提示が求められ、学校の成績よりもそちらを重視して可否の目安が示されるのだそうです。又、どこの塾に通っているかも聞かれ、それも合否判定に影響があるとのこと。つまり、家庭の経済格差が子どもたちの進路に直接影響を与えるという実態があります。

公立高校内申書でポイントとなる英語検定を、教育委員会が中学生に無償実施することを検討中であることが明らかになりました。歪んだ制度であっても、それを乗り越えるための「必要悪」としての「子どもの貧困」対策という考えは解らなくもありませんが、こうして教育のゆがみはますます深刻化する、という危機感も感じます。

市長の議会軽視に苦言

左記の全中学生への英語検定無償実施については、昨年10月28日の若宮中学校開校50周年記念式典において、石川市長があいさつの中で、あたかも決定事項のように話し、多くの人の知るところとなりました。

教育行政の独立性への配慮にも欠け、何より来年度予算編成途上である時期の発言としては、極めて不適切です。

12月議会で武井誠は、このことに対する抗議の意思を表明しました。

あなたの平和・私の人権 ～連載：市民の声③～

前々号からスタートした「リレー エッセイ」のコーナー。平和・人権・環境・雇用・産業・健康・福祉など、あらゆるジャンルの、様々な方の声を掲載させていただいています。今回は、月例の無料年金相談を担当していただいている社労士さんをお願いしました。

AI 時代の幸福論

石川 博

昨年、中学生のプロ棋士、藤井さんの連勝記録が話題になりました。将棋の勝負でも、AI（人工知能）が人間を負かしたことが知られていましたが、藤井さんはAIを活用しているとのことでした。

大晦日に、標記のテーマで2時間にわたる放送（NHKラジオ）がありました。AIの長所（メリット）や短所（デメリット）について、AI研究者（理研）・事業者（楽天）・動物研究者（京大）の鼎談（ていだん）で、最後に「幸福論」に触れていました。

印象的だったのは、AIを活用していく上で大切なのは、人と人との信頼関係をどの様に深

めるかという点にあるとのことでした。情報に囲まれすぎている時代にあって、他者と自分の身体との接触の必要性が強調されていました。情報革命は、人間の歴史の中で農耕・牧畜、産業革命（機械の発明）につぐ第三の波であると言われました。私は、情報機器のパソコンを使い始めてまだ5年ですが、人間にとって「大きな波」の時代であると実感しています。

武井さんは、市民の皆さんとのつながりを大切にすると感じています。インターネットのホームページを毎日更新するなどの情報発信により、私たちに近づこうとしています。私たちからの相談にも直接に話を聞いてもらえます。話し合いを活発にして、住みよい坂戸市を作りましょう。

「日本と再生」上映会ご案内

地球を一回りして自然エネルギーの活況を見に行こう
世界の潮流はすでに原発でも化石燃料でもない現実を
太陽、風、地熱、バイオマス、
よくよく見れば日本は資源大国！
地域も経済も再生させる作戦を開始しよう。
「目からウロコ」の映画です。

とき 2018年2月17日(土)午後1時30分

ところ 坂戸市入西地域交流センター

料金 大人 1000円 学生・障がい者 500円
中学生以下無料

主催 上映実行委員会

後援 坂戸市・坂戸市教育委員会

申し込み・問合せ 090-2306-7084 (花田)

090-9854-5175 (武井)

080-8712-5685 (河野)

090-9032-8116 (河井)



<ボランティア募集！> 福島県郡山市の子どもたちと過ごす夏休み、第5回集団宿泊活動「広げよう小さな輪 2018 in 坂戸」を今年も実施します。日程は7月26日（木）から30日（月）の4泊5日を予定。毎年100人を超えるボランティアの参加で、原発事故のことを学びながら、子どもたちに楽しい夏休みをプレゼントしています。仕事内容は多種多様、1日、半日単位の参加も可能です。参加ご希望の方は、武井までご連絡ください。